

ホーロー外装材「エマウォール エクステリアタイプ」 インクジェット印刷技術を応用 より高精細なデザインが可能に

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、ホーロー外装材「エマウォール エクステリアタイプ」において、インクジェット印刷技術による高精細なオリジナルデザインを実用化し、2023年1月10日（火）より受注を開始します。



地下鉄のホーム壁面をインクジェット仕様で仕上げたイメージ

タカラスタンダードの代名詞である「高品位ホーロー」は、丈夫な鉄のベースにガラス質を焼き付けて作られる、丈夫さと美しさを融合させた優れた素材です。太陽光線や風雨などにさらされても変色や腐食などをする心配がほとんどなく、建物などの外壁にも最適な素材として、1985年にホーロー外装材「エマウォール エクステリアタイプ」が発売されました。以後、駅舎や社屋、公共施設などの外装として採用実績を伸ばしてきました。

従来、ホーローへの色付けや柄付けは転写紙を貼って焼成することで行っていましたが、色ごとに版を重ねた転写紙が必要になり、色数にも制限があったため、単純なデザインが大半でした。しかし、2015年に多彩な色柄の表現が可能なインクジェット印刷技術を開発し、デザイン性が飛躍的に向上。翌2016年に同技術を応用したホーロー内装材「エマウォール インテリアタイプ」を発売し、住宅や非住宅の内装材において「ホーロー」という新たな素材の提案を開始しました。

近年、外装材においても、公共施設などで高級感や独自性を持った印象的な演出が求められるケースが多くなっており、この度、インクジェット印刷による製品のご提案が可能になりました。木目調や石目調などの柄の再現はもちろん、データ印刷によって写真やオリジナルの模様などをデザインすることも可能です。従来のホーローの特性を保ったまま、高いデザイン性を実現することで、今後は商業施設や宿泊施設、教育施設、駅のホームやコンコースなどにも展開していきます。タカラスタンダードはこれからも独自の「高品位ホーロー」を通じて、より多くの人により心地よい暮らしを楽しんでいただけるよう努めてまいります。

【参考資料】

■ホーロー外装材「エマウォール エクステリアタイプ」これまでの採用実績例

・沖縄都市モノレール「ゆいレール」



・病院施設



・通天閣体験型アトラクション乗り場



・教育施設(某小学校)



■商品概要

受注開始日： 2023 年 1 月 10 日（火）

販売価格： オープン価格 ※お見積もり等は下記までお問い合わせください。

サイズ： パネル 1 枚の最大サイズ 1030mm×2700mm 最小サイズ 50mm×200mm
パネル厚み標準 30mm（取付ピース含む）となります。

■お問い合わせ

営業本部 パネル事業部（Email：emawall@takara-standard.co.jp）

【西日本のお客さま】 06-6210-7093 【東日本のお客さま】 048-299-9412

※受注生産品となります。詳細については個別にお問い合わせください。

<タカラスタンダードとは>

1912年創業。『ずっと「愛せる」というしあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912年5月30日（創業110年） / 売上高<連結>：2,115億円（2021年度） / 従業員数<連結>：6,298名（2022年3月末時点）]